

Mizuho Daily Market Report

2023/9/14

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.27	147.46	+0.38	▲0.20
EUR	1.0745	1.0730	▲0.0024	+0.0003
AUD	0.6412	0.6422	▲0.0004	+0.0040
SGD	1.3615	1.3611	+0.0005	▲0.0025
CNY	7.2843	7.2717	▲0.0206	▲0.0463
MYR	4.6829	4.6810	+0.0022	+0.0053
THB	35.71	35.76	+0.12	+0.25
IDR	15370	15370	+30	+77
PHP	56.72	56.73	+0.07	▲0.21
INR	82.95	82.99	+0.06	▲0.15

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.249%	▲3.2 bp	▲3.1 bp
日本(10年)	0.713%	+0.2 bp	+5.3 bp
ユーロ圏(10年)	2.651%	+0.8 bp	▲0.2 bp
オーストラリア(5年)	3.892%	+0.0 bp	+3.6 bp
シンガポール(5年)	3.175%	+1.3 bp	+2.3 bp
中国(5年)	2.460%	▲1.5 bp	▲4.2 bp
マレーシア(5年)	3.635%	+1.7 bp	+2.7 bp
タイ(5年)	2.801%	+8.3 bp	+12.5 bp
インドネシア(5年)	6.324%	+1.0 bp	+9.2 bp
フィリピン(5年)	6.121%	+1.7 bp	+0.0 bp
インド(5年)	7.157%	▲8.1 bp	▲3.2 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,575.53	▲0.2%	+0.4%
N225(日本)	32,706.52	▲0.2%	▲1.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,223.48	▲0.4%	▲0.3%
ASX(オーストラリア)	4,097.89	▲0.0%	+1.2%
FTSTI(シンガポール)	3,218.93	+0.1%	▲0.1%
SSEC(中国)	3,123.07	▲0.4%	▲1.1%
KLSE(マレーシア)	1,453.54	+0.0%	▲0.5%
SETI(タイ)	1,535.31	▲0.7%	▲0.9%
JKSE(インドネシア)	6,935.476	+0.0%	▲0.9%
PSE(フィリピン)	6,149.18	▲1.3%	▲1.5%
SENSEX(インド)	67,466.99	+0.4%	+2.4%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	287.62	+0.1%	+1.0%
金	1,908.12	▲0.3%	▲0.4%
原油(WTI)	88.52	▲0.4%	+1.1%
銅	8,397.50	+0.4%	+0.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.00	—	148.00
EUR/USD	1.0680	—	1.0800
AUD/USD	0.6310	—	0.6500
USD/SGD	1.3570	—	1.3680
USD/CNY	7.2600	—	7.3300
USD/MYR	4.6600	—	4.6900
USD/THB	35.35	—	35.75
USD/IDR	15300	—	15420
USD/PHP	56.56	—	57.25
USD/INR	82.88	—	83.35

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は147円台前半でオープン。仲値にかけての実需のドル買い等を背景に147円台半ばまで上昇。しかし、米8月CPIを控えた様子見ムードの強まりもあってか、勢いが一服すると水準を戻し、その後は147円台前半で動意薄く推移。結局147円台前半で海外時間に渡った。
アジア通貨はまちまち。人民元のFIXINGレートが前日より100pipts程度元高方向に設定されたこと等から人民元は買い優勢となり7.30台前半から7.27台前半まで下落したが、その他通貨については海外時間に米8月CPIの発表を控え動きづらい展開となった。

海外市場のドル円147円台前半でNYオープン。NY時間朝方に発表された注目の米8月コアCPI(前月比)は予想を上回り、買いで反応し、147円台後半まで上昇。しかし、コアCPI(前年比)では前月より低下している内容を受け、米インフレ鈍化傾向の思惑から、米長期金利が低下する展開につれ安となり、147円台前半まで反落する。NY時間午後には米金利が低水準で推移する展開が重しとなり上値の重い推移がしばらく続いたが、売り一巡後は147円台半ばまで反発しクロス。

【金利】

金利市場は、中期ゾーンを中心に前日終値比低下。金利カーブはわずかにスティープ化した。注目の米8月CPIが発表され、結果は前月比+0.6%(7月同+0.2%)と市場予想通りの伸び、コアは同+0.3%(7月同+0.2%)と市場予想を小幅に上回る伸びとなった。今後の利上げ継続観測が強まり、金利は発表直後急上昇したが、その後は買い戻しが入り、前日終値比ではマイナスの終了。

【予想】

本日のドル円は引き続き147円台前半を中心としたもみ合い推移を予想。昨日発表された米8月CPIの結果は今後の米金融政策に対する見方に大きな変化を与える内容とはならなかったとの認識。本日は海外時間に控えるECB理事会に注目が集まる中、アジア時間については方向感の出づい展開を予想する。

【本日の予定】

(日本) 7月 コア機械受注
(日本) 7月 鉱工業生産(確) / 設備稼働率
(アジア) 2Q インド 国際収支: 経常収支
(アジア) 8月 インド 卸売物価
(アジア) 8月 豪 雇用統計
(アジア) 9月 豪 消費者インフレ期待
(欧州) ECB政策理事会
(欧州) ヲバルド ECB総裁会見
(米国) 7月 企業在庫
(米国) 8月 小売売上高 / PPI
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。